



1

問題を解くのと答えを確かめるのってどっちが難しいの？

叶ふとトリトナリズム

PROVE P vs NP, GET 1M DOLLAR

# 研究室紹介

長尾研

# 長尾研概略

- ➔ 教員: 長尾 篤樹 居室: 401室
  - ➔ 専門: 理論計算機科学  
(計算量理論, アルゴリズム論, 組合せゲーム・パズル等)
  - ➔ 授業: 2年前期『システムプログラミング実習』  
3・4年前期『言語理論とオートマトン』 ○  
3・4年後期『計算基礎論』 ○
- ➔ 研究室: 408室
  - ➔ 次年度の学生: D1:1名,  
M2:1名, M1:0名  
B4: 上限4名

# 長尾研スケジュール予定

## →ゼミ・ミーティング

→コアタイムは週3+1コマほど。

→それ以外も研究室に入り浸ってくれると嬉しい

→卒研用に個別ミーティング 証明を作ろう！

→輪講・進捗報告会 人前で話す訓練！



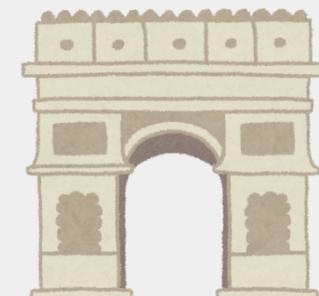
## →学会等

→7月頭:80人規模のシンポジウム

→2026年度は長尾が幹事をします

→隨時:成果が出れば各地で学会発表

→良い結果だと海外へ！



# 専門分野の説明



## 理論計算機科学

- ☞ 計算機科学分野のうち、理論を扱う分野
  - ☞ 組合せ理論・グラフ理論・情報理論等を扱う
  - ☞ 確率論・(線形)代数等も時々扱う

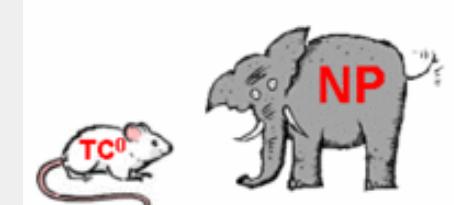
情報科学

理論計算機科学

計算量理論

## 計算量理論

- ☞ 問題(関数や言語、集合)の難しさを  
その問題を解く計算モデルの要求する  
リソースの規模によってクラス分けする学問



# 究極のテーマをザックリと

→「難しい」ってなに？

→≒パズルやゲームの「楽しい」ってなに？

→それってNP完全じゃない？



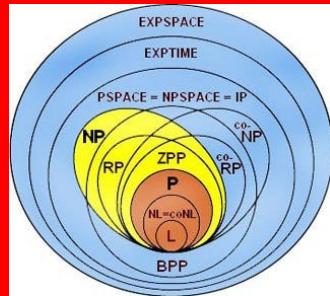
# 扱うテーマはいろいろ

最近の卒論では  
・計算量理論  
・グラフ理論  
・組合せゲーム理論  
が取り組まれている。

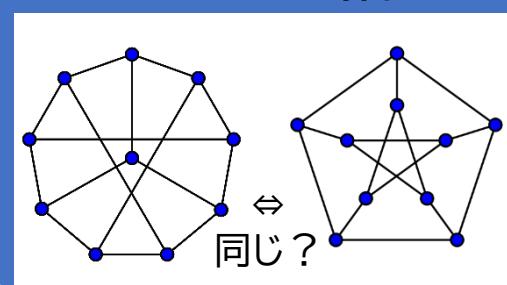
→キーワード:NP完全, アルゴリズム

→グラフ・論理パズル・組合せゲーム等も…

## 計算量理論



## グラフ理論



## 厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- $2^n$  algorithm is trivial
- 1.618<sup>n</sup> [Monien, Speckenmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(x_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5) \cdots$$

$$T(n-1) \xrightarrow{x_2=0} T(n-2) \xrightarrow{x_2=1} T(n-2)$$

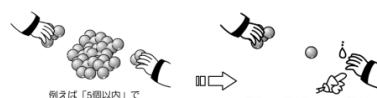
$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1+\sqrt{5}}{2}\right)^n$$

always size 2?

$$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots (\bar{x}_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots$$

## 組合せゲーム理論

### 二人対戦石取りゲーム（ニム）



◦先手が有利？ 後手が有利？

- 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…？
- 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…？

## 近似アルゴリズム

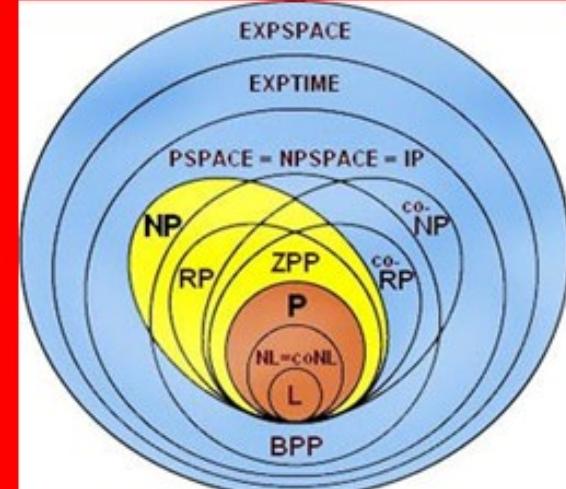
### BIN-PACKING

- 使用するBIN(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。



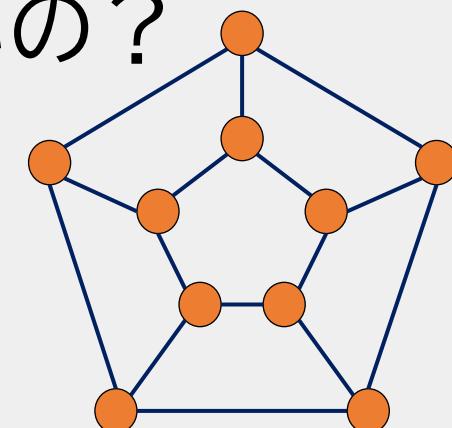
# 計算量理論

## 計算量理論



→問題の『難しさ』  
を追求するテーマ

→ $P \neq NP$ 問題を筆頭とした様々な課題が  
→非決定性計算って強いの?  
→乱数を使うと扱える問題は増えるの?  
→量子アルゴリズムって本当に強いの?  
→難しいパズルってどんなの?  
→難しいゲームって?





# グラフ理論

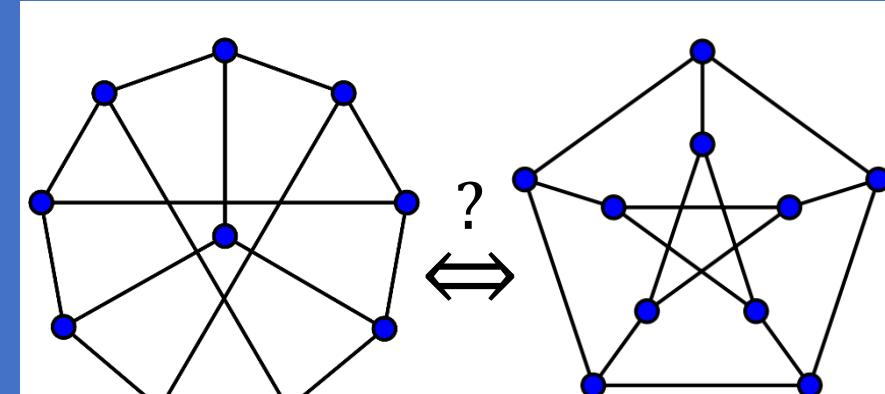
➔ NP完全な問題も  
豊富なジャンル

➔ グラフの特徴を様々な視点で探ろう！

➔ ハミルトン閉路問題は一般にはNP完全  
➔ グラフを二部グラフに制限してもNP完全  
➔ 全頂点の次数が3でもNP完全  
➔ 最大次数3の平面グラフでもNP完全

➔ でも、4-連結だと線形時間で解ける！

## グラフ理論



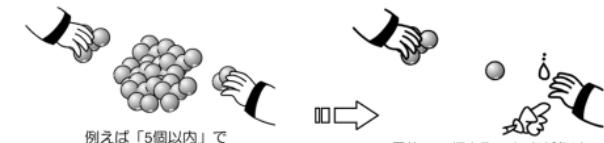
# 組合せゲーム理論

➔ ゲームやパズルを計算量の観点で

- ➔ 『難しい』パズルとそうでないパズル?
  - ➔ 計算量理論の言葉で説明可能
- ➔ 勝つのが『難しい』ゲームとは…?
  - ➔ 同様に説明可能
- ➔ グラフ上の問題やSATから帰着して証明

## 組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム（ニム）



例えば「5個以内」で  
いくつでも取れる

最後の一個を取った方が負け

- 先手が有利？ 後手が有利？
  - 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
  - じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…？
  - 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…？

# 厳密アルゴリズム

→NP完全な問題を  
できるだけ早く解く

→多項式時間アルゴリズムが  
存在しなさそう…だけど…！

→SATは総当たりで  
 $O(2^n)$ の計算時間  
→2をできるだけ  
小さく！

## 厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- $2^n$  algorithm is trivial
- $1.618^n$  [Monien, Speckenmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(x_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5) \cdots$$



$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left( \frac{1 + \sqrt{5}}{2} \right)^n$$

always size 2?

$$F = \dots \dots (x_1 \vee \circ \vee \circ) \dots \dots (\bar{x}_1 \vee \circ \vee \circ) \dots$$

Table 1. Worst case upper bounds for 3-SAT

$c$	type	ref.	$c$	type	ref.
1.839	det.	[MS79]	1.362	rand.	[PPSZ98]
1.769	det.	[Dan83]	1.334	rand.	[Sch99]
1.618	det.	[MS85]	1.3302	rand.	[HSSW02]
1.579	det.	[Sch92]	1.32971	rand.	[Rol03a]
1.505	det.	[Kul99]	1.3290	rand.	[BS03]
1.497	det.	[Sch96]	1.32793	rand.	[Rol03b]
1.481	det.	[DGH+02]	1.3238	rand.	[IT04]
1.476	det.	[Rod96]	1.32267	rand.	[IT04] + [PPSZ05]
1.473	det.	[BK04]	1.32216	rand.	[Rol06]
1.465	det.	[Sch08]	1.32113	rand.	This paper



# 近似アルゴリズム

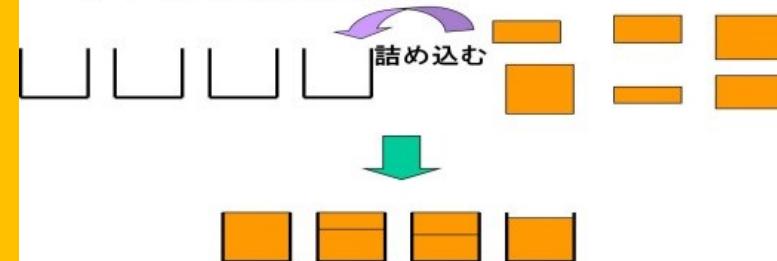
# →NP完全な問題を 『雑に』早く解く

- 最適解でなくても良いので近似解を
- 単なる解ではなく、精度の保証を
- 多項式時間アルゴリズムと  
そこそこの精度を両取り
- 実用上も便利！

## 近似アルゴリズム

## ビンパッキング

- 使用するビン(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。



# どんな学生がマッチするか



- ➔ 読む見る考える遊ぶが好きな人
  - ➔ 基本的に論文・教科書相手の生活
    - ➔ 人間と共同作業でモノづくりは一番遠い…
  - ➔ 学会の懇親会でボードゲームをすることも
    - ➔ 研究室にもたくさんあります

- ➔ 研究室に居座りたい人
  - ➔ 雑談から解決の糸口が見つかる事も
  - ➔ 一人で黙々と研究するのも○
  - ➔ 腰を据えて博士後期課程進学も



# 長尾研にてお待ちしています。

→アルゴリズム・計算量を研究しませう  
→自身の興味をアルゴリズムに絡めるのも歓迎！

